山上憶良(やまのつえのおくら)

代表歌

憶良らは 今は罷らむ 子泣くらむ それその母も 吾を待つらむぞ (3-337)

瓜食めば 子ども思ほゆ 栗食めば ましてしのはゆ うづくより

来たりしものぞ まなかひに もとなかかりて 安眠し寐どぬ (5-802)

反歌

銀も 金も玉も 何せむに 勝れる室 子に及めやも (5-803)

天ぞかる 鄙に五年 住まひつつ 京の風俗 忘らえにけり (5-880)

世の中を 憂しとやさしと 思へども 飛び立ちかねつ 鳥にしあらねば (5-893)

土やも 空しかるへき 万代に 語りつぐへき 名は立てずして (6-978)